

地域活性化
起業人だより

第1回

しなだ たかし
品田 宜志



この度、総務省の企業人派遣制度を活用し、下妻市の地域活性化起業人に就任いたしましたAnbai株式会社の品田です。

下妻市は、私が高校を卒業するまで生まれ育った故郷でもある街です(下妻第二卒)。そんな地元の活性化に携われることになれることにとってもワクワクしています。

今後は下妻市のまちメディアである「サママー」を基軸に、市内がより面白く、より活気のある状態を目指して様々な活動をしていく予定です。

市内在住者がより豊かな下妻ライフを過ごしていただけるように、また、私のように一度地元を離れた出身者が安心して下妻市に戻って来れるような街に少しでも近づけるように、精一杯尽力していく所存です。

具体的には、サママーのInstagram、Twitter、noteでの情報発信を強化し、市民でも知らないような下妻市の歴史を記事として「見える化」していきます。もしよろしければ各アカウントのフォローをいただき応援してもらえると幸いです。それではこれからよろしくお願いいたします。



地域活性化起業人に就任した品田さん(左)、菊池市長(右)



サママーは『下妻市』の等身大な日常や「なつかしい」を集めお届けしながら、これからの「下妻らしさ」を創るメディアです。

Twitter



Instagram



Note



問 都市整備課 ☎ 45-8128 FAX 43-2945

トウモロコシの収穫体験で
夏の思い出作り

8月11日

ピアスパークしもつま体験農園を会場として、トウモロコシの収穫体験が開催されました。このイベントは下妻地域ふるさと交流推進協議会が主催し、市内の若手農家グループであるCLST(クラスタ)がトウモロコシを栽培したものです。



大きなトウモロコシが採れました

夏の強い日差しが照り付ける中、市内外から参加した児童やその家族など約40人は、トウモロコシ畑に分け入り、収穫の手ほどきを受けながらそれぞれトウモロコシを収穫していました。千葉県船橋市から参加した母子は「夏休みに自然を満喫できて良かった(母)「楽しかった(子)と収穫したトウモロコシを手に話していました。

あわら市と下妻市との
教育交流事業を開催

8月19日

姉妹都市である福井県あわら市の2中学校と本市の3中学校の代表生徒が、オンラインで交流会を行いました。交流会は平成29年度から実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から3年連続で直接の訪問交流ができず、今年もオンラインでの開催となりました。交流会では、お互いの市や学校の紹介、グループごとの対話などを行い、共通の関心事などの話で盛り上がりました。千代川中学校生徒会副会長の酒寄夏音さんは「あわら市の中学校で校則の見直しが行われていることや学校生活の状況を知ることができ、とてもいい機会になりました」と話しました。



タブレットを使って交流する中学生(千代川中学校)

防災事業説明会を開催しました

7月31日と8月6日の両日、下妻市役所および千代川公民館を会場に、自治区長、代表区長および自主防災会長に対して、市の防災事業の説明会を開催し、約150人が参加しました。

説明会の中では、市が実施している防災事業のうち、特に自治区などの地域住民に関係が深い内容について説明しました。

各説明会では、菊池市長が「防災対策において自助、共助、公助が重要であり、特に災害対応の初動における地域の取組みが重要であり、防災力向上に向けた更なる取組みをお願いします」との挨拶をしました。また、栗野自治区長連合会長からは「市内の自主防災組織を有する自治区が全自治区の約半数程度であり、自主防災組織のない自治区等は、設立に向けた取組みをお願いします」との発言がありました。

●主な説明内容

- (1) 自主防災組織の活性化事業について
- 自主防災組織設立などのお願い、自主防災組織

- に対する補助金の説明
- (2) 避難行動要支援者の支援プランについて
- 災害時避難行動要支援者名簿の配布や、避難支援が可能な方の選出のお願い
- (3) 令和4年度の総合防災訓練の実施について
- 11月27日実施予定の、下妻中学校等での訓練参加の依頼など



市の担当者の説明を聞く参加者

夏休み「1日図書館員」を実施

8月11日、21日、28日の3日間、下妻市立図書館では市内の小学4、5、6年生を対象に「1日図書館員」を募集。各日3~4人の参加者が、図書館員の業務を体験しました。この取組みは、子どもたちに図書館を身近に感じ、読書に興味と親しみを持ってもらおうと企画したもので、参加した児童たちは、本の貸出返却・図書の紹介ポップの作成などを行いました。参加した総上小学校4年の染谷理奈さんは「本に消毒をするのが大変でした」と感想を述べていました。



図書館の窓口業務を体験する児童

夏休みワークショップを開催

下妻市ふるさと博物館(長塚乙)では、「宿題おたすけマン」と題して、市内小学生を対象にワークショップを開催しました。8月3日は「ポスターの日」として、8月5日は「お習字の日」として、専門の先生が夏休みの宿題となっている作品作りの手伝いをする企画で、のべ約60人が参加しました。

参加した小学生たちは、各小学校から配布された夏休みの宿題一覧表から選んだ題材に、熱心に取り組んでいました。



先生の指導を受けながら作品制作に取り組む児童